

「脳底動脈閉塞を伴わない椎骨動脈急性閉塞への 血栓回収療法の検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

前方循環系の脳主幹動脈急性閉塞では、発症早期に機械的血栓回収療法を行うことが推奨されています。後方循環系の急性閉塞のうち脳底動脈閉塞に対しては明確なエビデンスはありませんが、血栓回収療法の有効性を示す報告も多いことから施行を考慮してもよいとされています。脳底動脈閉塞を伴わない椎骨動脈急性閉塞症例は、症状が軽症である事も多く、脳底動脈領域への遠位塞栓のリスクからも血栓回収療法は強く推奨はされていません。ですが、遠位塞栓を来さず有効な再開通が得られれば、脳幹梗塞を回避でき良好な転帰につながるため、血栓回収療法を行うことでその後の神経学的な予後を改善する可能性があります。脳底動脈閉塞を伴わない椎骨動脈急性閉塞に対する血栓回収療法の施行群と非施行群とを比較することで、血栓回収療法の有効性を検証することといたしました。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2016 年 4 月 1 日から 2022 年 2 月 28 日の間に、脳底動脈閉塞を伴わない椎骨動脈閉塞症に対して血栓回収療法あるいは内科的加療を施行した患者様を対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、治療法、年齢、身長、体重、既往歴、画像検査結果、神経症状、転帰などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・梅村 武部の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので

お申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経外科 担当者 若林 拓也 / 宮田 武
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）